

精練加工場見学 オープンファクトリー “精練の世界”

見 学 日：平日（月曜日～金曜日）

ツアー時間：10:00～ / 11:00～ / 13:30～ / 14:30～ / 15:30～

計5回実施【要事前予約】

※2024年6月24日（月）は午後のみ計3回実施【要事前予約】

見 学 時 間：約45分

見 学 料：18歳以上1,000円（税込）・18歳未満500円（税込）

丹後ちりめんくるみボタンワークショップ付き

場 所：TANGO OPEN CENTER 受付（丹後織物工業組合 加工場内）

各工程ごとに音声ガイドアプリによる
詳しい解説がありますので、スマートフォンと
イヤホンをお持ちの方は、ご持参ください

ファクトリーSHOP（直営ショップ）・ワークショップ

営業日：平日（月曜日～金曜日）

時 間：10:00～16:30

直営ショップでは、丹後織物製品をはじめとするプロダクト、地域産品等を販売いたします。
丹後ちりめんの面白さに触れてもらうワークショップも開催します。
ファクトリーツアー、ワークショップ、精練・染色体験のみのご来場も可能です。
どなたでもご来場いただけますので、ご家族・ご友人もお誘いの上、ぜひお越しください。

【ワークショップ例：（有料・予約制）】

○カップチリメンワークショップ（所要時間：約30分）

2,500円（税込）

丹後ちりめん（ポリエステル）の生機（織ってすぐの状態）
をお湯で縮めておにぎりのような巾着袋をつくる
ワークショップです。



オープンファクトリー・ワークショップご予約方法

予約フォームよりご予約ください

URL：<https://tanko.or.jp/tof/>



加工場 丹後ちりめん精練・染色体験

営業日：平日（月曜日～金曜日）

時 間：午前の部 10:00 / 午後の部 14:00

○丹後ちりめん精練・染色体験

◆精練体験（所要時間：約2時間）5,500円（税込）

◆染色体験（所要時間：約2時間）5,500円（税込）

丹後ちりめん生地（2m）or 帯揚げ生地（1.7m）のどちらか
お好きな生地を選択いただけます。

○ハンカチ染め体験（所要時間：約1時間30分）3,300円（税込）

ハンカチ染めキットを使用した染色体験です。

お電話にてご予約ください（平日8:00～17:00）

TEL 0772-64-2490 丹後織物工業組合 加工場



TANGO OPEN CENTER

オープンファクトリー “精練の世界” & ファクトリーSHOP OPEN

「TANGO OPEN CENTER」

2024.6.24～営業開始

～絹織物・精練加工場

“精練の世界”一般見学～

丹後ちりめんの生まれる瞬間を目撃

和装用後染織物（表地）の生産日本一の産地で、絹織物精練加工場の一般公開（オープンファクトリー）と直営店舗を常設し営業を開始いたします。

丹後ちりめんの生地が完成する前の最重要とも言える精練加工の現場をご見学いただけます。オープンファクトリーでは、丹後ちりめんの精練加工を一目できるファクトリーツアー“精練の世界”を実施いたします。

300年余りの歴史を持つ丹後ちりめんの奥義を是非ご覧ください。

また、丹後の織物を使用した商品もお買い求めいただけます。

2024. **6.24** MON GRAND OPEN

開館日時：平日（月曜日～金曜日） 10:00～16:30

場 所：TANGO OPEN CENTER

丹後織物工業組合 加工場

（629-2502 京都府京丹後市大宮町河辺3188） ※無料駐車場有り





丹後ちりめんとは

3次元の表情を持つ伝統の織物「丹後ちりめん」は2020年に創業300年を迎えた伝統の技術です。緯糸に強撚糸を使用し、精練加工を経ることで生地表面にシボと呼ばれる凹凸が生まれる、後染織物です。厳しい検査を経た製品にブランドマークを押印し、高品質で風合い豊かな「丹後ちりめん」が誕生します。



せいれん 精練とは

織り上がった生糸の繊維に含まれている不純物とたんぱく質の一種である「セリシン」を、石けんなどの薬品を加えた熱湯の中で洗い落とす工程です。この工程により緯糸の撚りもどり、はじめて手触りも柔らかな、ちりめん独特の凹凸感をもった風合いの良い純白の絹織物になります。

丹後ちりめんの歴史は、 生地の表情〈テクスチャー〉の歴史

1720年に京都西陣から、ちりめん織りの技術を持ち帰った先人たちが、独特の「シボ(生地の凹凸)」を持ったちりめんの生産に成功したことにより、丹後ちりめんが始まりました。彼らはその技術を入りに惜しみなく教え、瞬く間に丹後一円に広まりました。丹後の職人たちは300年の間、各時代の和装シーンにいくつもの主流商品を生み出してきました。生地が透けて見える紹ちりめん、色糸・金銀糸などを織り込む縫取りちりめん、上品な光沢を放つ緞子ちりめんなど、撚糸と織り技術の応用によって様々な「表情〈テクスチャー〉」の素材が誕生しました。その結果、戦前から丹後は日本一の絹織物生産地となり、今やそのシェア(※)は全国の約70%にも上ります。そして、その挑戦は、いまなお続いています。
(※日本で生産される和装用後染織物(表地)の数量、(一社)日本絹人織織物工業会の資料に基づき試算)



世界最高水準の表情を生み出す“撚糸×織り”

撚った糸=撚糸を使って織物を織ることは、非常に難しい…。経糸の張力、緯糸を打ち込む回転数の調整など、経験によってしか得られない複雑な感覚が求められるからです。しかし、丹後ちりめんの職人は永きに渡る技術の蓄積により、呼吸をするがごとく撚糸を自在に操り、世界的に見ても希少な表情を持つ生地を織り続けてきました。その表情の本質は、生地が3次元の奥行きを持つということ。糸が縮む力を利用して生み出す独特の凹凸「シボ」は、本来平面的である織物に立体感を与えます。撚糸一つをとっても糸の合わせ方や撚り回数など、組み合わせにより数え切れない種類の緯糸が存在します。職人たちは組織の違いなどをかけ合わせることによって、生地表面に様々な表情を作り出してきました。今、世界が「面白い」と着目している丹後ちりめんの生地の表情〈テクスチャー〉は、ここ丹後でしか実現できない世界最高水準の技術なのです。

お問い合わせ先:丹後織物工業組合 TOC事業課 〒629-2502京都府京丹後市大宮町河辺3188
Tel : 0772-68-5302 Fax : 0772-68-5300 E-mail : info@tanko.or.jp
URL : tanko.or.jp

